

第1回 榛南地域流域治水協議会

対策メニューの検討について

令和3年2月26日

対策メニューの検討

● 県管理河川：流域治水プロジェクト・水災害対策プラン

対象外力 【短期対策】 近年洪水、【長期対策】 気候変動を考慮

河川対策

(長期対策を見据えた上で
効果的な対策を抽出)

+

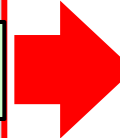
流域対策

(新たに検討)

+

ソフト対策

(減災協議会の取組から抽出)



【ソフト対策】

【減災協議会の取組方針】

1. 防災教育を通じた地域住民の
防災意識の向上
2. 水害リスク情報等の共有による
確実な避難の確保
3. 被害軽減のための迅速な水防
活動・排水活動等

【流域対策（主な内容）】

項 目	内 容
流出抑制対策	・ 防災調整池 ・ 校庭貯留 ・ ため池やかんがい排水用水路の治水利用 ・ 水田貯留（畦嵩上げによる貯留機能の向上） ・ 浸透ます、浸透管 ・ 建物内の雨水貯留施設 ・ 住宅等における各戸貯留 ・ 透水性舗装や道路嵩上げ ・ 一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけ ・ 自然地の保全等
土地利用・住まい方の工夫 等	・ 災害危険区域の指定 ・ 立地適正化計画の見直し (居住誘導区域への災害リスクの考慮) ・ 二線堤等の整備や保全 ・ 高台整備 ・ 家屋移転 ・ 宅地嵩上げ、住宅高床化 ・ 電気設備のかさ上げ、止水板の設置 等

対策メニューの検討

【河川対策（主な内容）】

分類	対策(案)	対策(案)の概要
外水河川の対策	本川の水位低下対策	樹木伐採、河道拡幅、河道掘削による水位の低下
内水河川の対策	※排水ポンプの増強	- 現況排水機場の増設、または新設 - ポンプ2段階運転調整
	内水河川堤防の嵩上げ	内水河川の堤防を嵩上げし、越水氾濫量の低減、排水能力を高める
	流域分離	既存水路網を活用した放水路等による洪水の集中を回避する
	内水河川改修	内水河川の掘削等により河積を拡大する

※排水ポンプの増強については、排水量増に伴う本川及び支川の流下能力を増加させるための対策とあわせて検討する必要がある、検討にあたっては、流域内での被害軽減のための対策を主とした検討を実施する必要がある。

対策メニューの検討

対策検討の流れ

- ①浸水被害原因の分析
 - ・ 過去の浸水被害分析
 - ・ 氾濫シミュレーションによる分析
 - ②対策目標の設定
 - ③対策方針の検討（河川と流域分担量の設定）
 - ④対策メニューの選定・効果検証（氾濫シミュレーション）
 - ⑤役割分担の整理
 - ⑥水災害対策プラン・流域治水プロジェクト（案）
- とりまとめ

関係機関で主体的に取り組む対策メニューを別紙【「流域治水」の対策メニュー一覧表】から抽出・検討する

◎対策メニューは、下記のとおり選定
【短期対策】 5年程度で実施する対策
【中期対策】 10年程度で実施する対策
【長期対策】 20年程度で実施する対策

210108

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

土岐川・肥田川・小里川等の
堤防整備、河道掘削 等

- ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築
- ・砂防堰堤
- ・雨水排水網、ポンプ場、貯留管
- ・既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築
(関係者：国、土岐川防災ダム一部事務組合など)
- ・森林整備
- ・ため池等の活用、水田貯留
- ・雨水貯留浸透施設整備（校庭貯留、調節池）等

- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導
- ・土地利用規制（災害危険区域）
- ・掘削土を活用した高台整備
- ・二線堤の整備、自然堤防の保全 等

- ・地下空間・地区タイムラインの活用
- ・地下駅等の浸水対策
- ・広域避難計画の策定
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・小学生にも理解できる教材を用いた防災教育の実施
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成
- ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設
- ・まるごとまちごとハザードマップの整備
- ・要配慮者利用施設の浸水対策 等

■ ■ ■

堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

雨水調整池の整備(●●市)

庄内川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

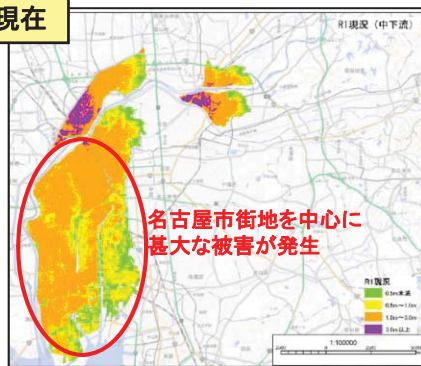
～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

- 庄内川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 名古屋市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、狭窄部下流で水位低下を目的とした河道掘削や雨水調節池等を実施。
 - 【中期】 狭窄部の流下能力不足解消のため、枇杷島地区の3橋梁架替えを実施。
 - 【中長期】 狭窄部上流部の浸水被害を防ぐため、洗堰改築や河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて、日本経済を支える産業集積地域である流域の特徴を踏まえ、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導等)、地下空間・地区タイムラインの活用等を実施。

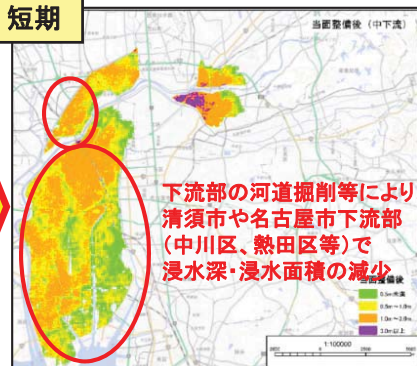
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	狭窄部下流の名古屋市街地等を守る河道掘削	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県	下流部(枇杷島下流)	県道枇杷島橋完成	下流部(枇杷島上流)
	狭窄部上流の多治見市街地等を守る河道掘削	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県		JR東海道本線新幹線橋梁完成	上流部、矢田川
	狭窄部対策(橋梁改築)	庄内川河川事務所 愛知県			
	●●の洗堰改築	庄内川河川事務所		名古屋中央雨水調整池 広川ポンプ場の完成 (名古屋市)	雨水貯留施設の新設等 (多治見市)
	雨水排水網、ポンプ場、貯留管	愛知県・岐阜県 名古屋市(リーディング)等			
被害対象を減少させるための対策	「安全なまちづくり」に向けた取組 立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導	名古屋市(リーディング)等		立地適正化計画に基づく防災指針 (多治見市)	
	掘削土を活用した高台整備	●●市等		(●●市)	
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	地下空間・地区タイムラインの活用	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県 多治見市(リーディング)等		関係機関の連携強化 (多治見市)	地下空間タイムラインの策定 (名古屋市)
	危機管理型水位計の設置	●●市等		危機管理型水位計の設置 (●●市)	

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

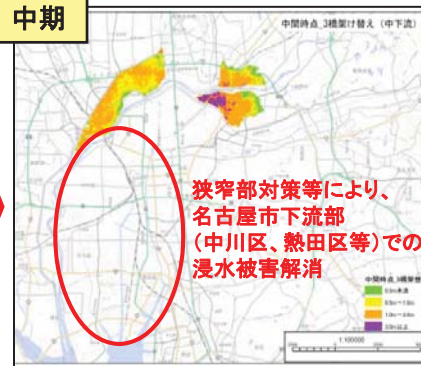
現在



短期



中期



中長期

浸水被害解消

※リーディング地区は今後追加予定。
※スケジュールは今後の事業進捗によって
変更となる場合がある。

※直轄管理区間において、平成12年9月洪水(東海豪雨)と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破壊させた場合の氾濫想定範囲

坂口谷川水災害対策プランの方向性について

- 1 . 災 害 の 発 生 状 況
- 2 . 対 策 メ ニ ュ ー (案)

1. 災害の発生状況

細江地区と住吉地区の浸水被害の特徴

- 坂口谷川下流部の牧之原市細江地区と吉田町住吉地区は、河川背後地の地盤高が低く、洪水時に坂口谷川の水位が高くなると、流入する支川や都市下水路の排水不良が起こること、市街地の進展や農地の埋め立てにより流域の保水力が低下していること、排水能力が十分でないことなど、様々な要因が複合して、家屋浸水や道路冠水等の内水被害が頻発している。
- 近年での内水被害が大きい豪雨は、平成25年4月洪水(浸水家屋数105戸)、令和元年10月12日洪水(浸水家屋数102戸)が挙げられ、相次いで大規模な内水氾濫による浸水被害が発生している。



平成16年10月洪水(榎原総合病院南側)



令和元年10月洪水(榎原総合病院)



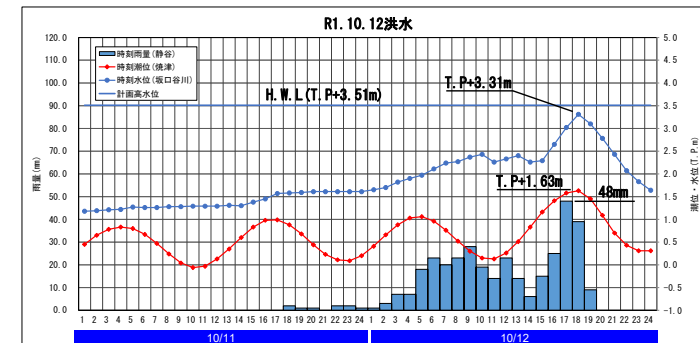
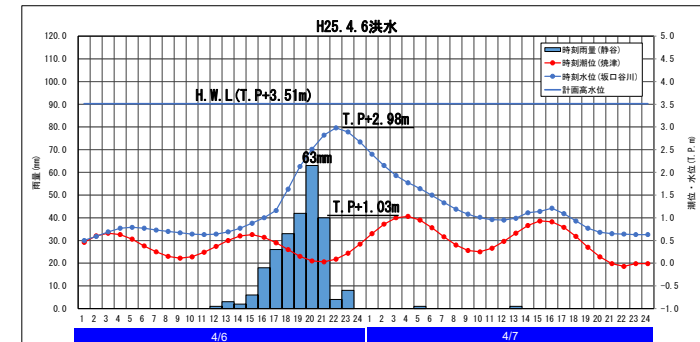
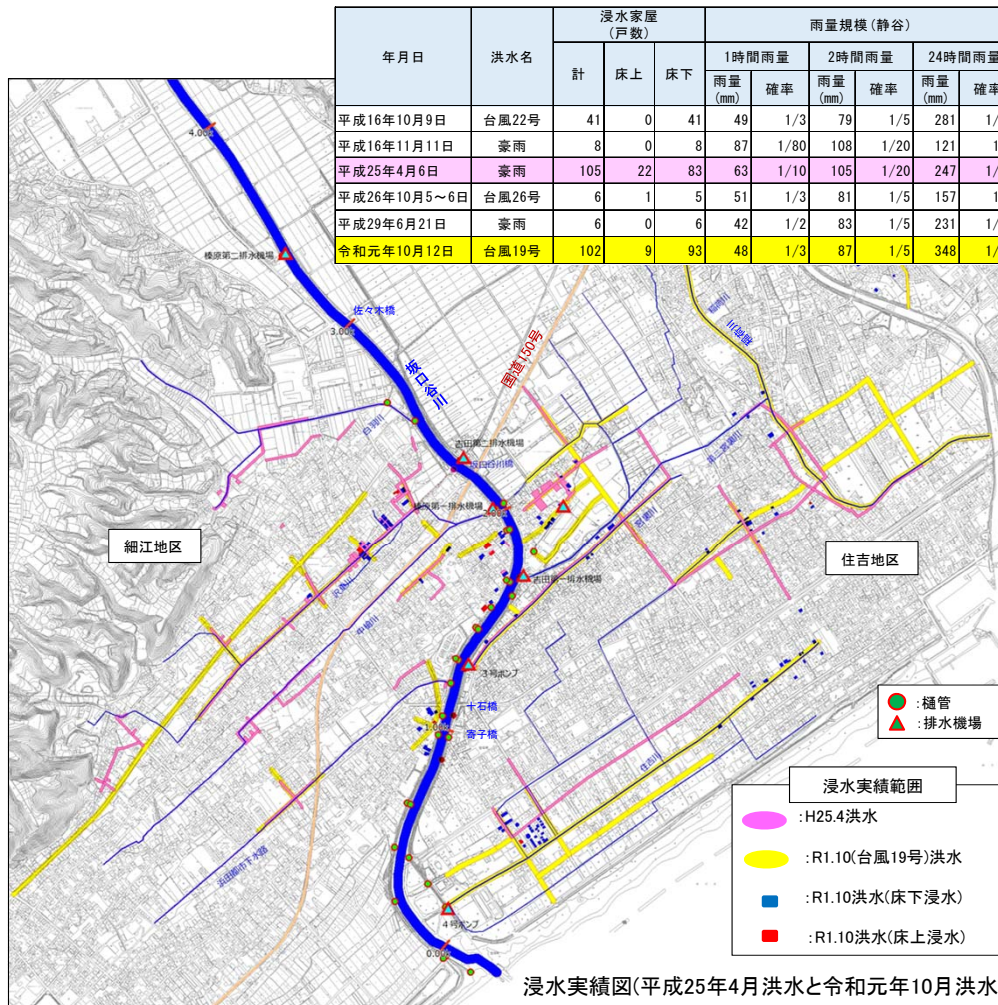
平成16年10月9日 AM7:05
(主) 沢垂川 榎原病院南側



平成16年10月9日 AM8:51
榎原警察署前 (主) 細江金谷線



平成25年4月洪水



平成25年4月洪水と令和元年10月洪水の雨量・水位・潮位の時刻変化

2. 対策メニュー(案)

- 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、坂口谷川においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、平成25年4月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避するための河道整備と、流域における対策を実施することにより、床上浸水被害を解消する。また、令和元年10月洪水と同規模の洪水に対しては床上浸水被害を半減させる。
- 河川における対策は坂口谷川本川の1.40k(十石橋直下付近)～3.0k付近(佐々木橋直下)区間の築堤・河床掘削、準用河川の排水路整備と沢垂川では放水路の建設、流域における対策はポンプ新設・増設等の内水対策、水田保全と水田貯留、学校での校庭貯留、公共施設での駐車場貯留、防災および農地用調整池やため池での洪水調節機能の増強・整備等の流出抑制対策を実施する予定である。

